

山形森林管理署安全大会を開催しました

令和6年7月1日(月)の午前、寒河江市中央公民館にて山形森林管理署職員が参集し安全大会を開催しました。

当署では令和6年度国家公務員安全週間に合わせて標記の大会を開催し、安全意識の高揚、公務災害の未然防止を図り、積極的な安全活動を展開することとしております。

はじめに添谷署長より挨拶の中で、基本動作の遵守、ダニ刺傷予防への注意喚起がありました。

安全講話は、寒河江警察署交通課交通主任の小野田進之介さまより「安全・安心な交通社会を目指して」の演題で賜りました。交通事故の発生状況と傾向が伝達された後、KYT(危険予知トレーニング)としてCGを使用したシミュレーションを行い、危険を感じたら手元にあるボタンを押すことにより、人によって危険判断のタイミングにズレがあることを実感しました。

講話を拝聴して、認知→予測→判断→操作の過程でのヒューマンエラーが事故の原因になることと、隠れた危険を察知することの重要性、を改めて認識しました。

当署職員から募集し選考しました、安全に関する標語・健康に関する標語の入選作品6点の発表、ならびに表彰を行いました。

【安全の部】 最優秀

「気を付けて 不安な時こそ冷静に 急がず焦らず 安全確認」 (乙部 隼人)

【健康の部】 最優秀

「日々の運動で 減らそう腹囲 増やそう健康寿命」 (納谷 康一) ※優秀以下は割愛

私ども森林管理署職員が就業する現場は足元が不安定である等、危険因子が幾つ也存在します。さらに車両での移動が頻繁かつ広範囲でもあり、交通事故の危険もはらんでいます。職員一同、本日の教訓を肝に銘じて初心に帰り、災害のない明るい職場づくりに努めてまいります。

